

小中一貫教育だより

「つなぐ」

～中学校区の実態に応じた取組を求めて～



目標をつなぐ
カリキュラムをつなぐ
こどもの心をつなぐ
教職員の意識をつなぐ
家庭・地域の絆をつなぐ
「小中一貫教育！」



令和6年度（2024年度）
No.1 ～ No.7
担当：熊本市教育委員会事務局
学校教育部指導課

各中学校区の取組をつなぐ

熊本市に広がる「小中一貫校」！

（中学校併設型小学校及び小学校併設型中学校）

Aグループ（小1中1）とBグループ（小複中1）では、小中一貫校（中学校併設型小学校及び小学校併設型中学校）への移行が進んでいます。今年度新たに5中学校区が小中一貫校へ移行しました。これにより合計 18 中学校区、56 校が小中一貫校となりました。これはA・Bグループの8割を占めます。今後、小中一貫校への移行はさらに進められ、令和7年度（2025年度）には、A・Bグループの全ての小中学校が、小中一貫校へ移行する予定です。

令和5年度までに小中一貫校となっている中学校区

芳野中学校区	富合中学校区	江南中学校区
河内中学校区	二岡中学校区	江原中学校区
天明中学校区	城南中学校区	楠中学校区
下益城城南中学校区	鹿南中学校区	五霊中学校区
植木北中学校区		

(13 中学校区 小中 39 校)

令和6年度より新たに小中一貫校となった中学校区

花陵中学校区	城西中学校区	飽田中学校区
力合中学校区	日吉中学校区	

(5 中学校区 小中 17 校)

令和6年度の小中一貫教育研究モデル校

三和中学校区	武蔵中学校区	長嶺中学校区
龍田中学校区		

(4 中学校区 小中 13 校)

～R6 つなぐ No.1 より

小中一貫教育研究モデル校の取組が始まりました！

令和6年度、4つの中学校区（三和中学校区、武蔵中学校区、長嶺中学校区、龍田中学校区）が、小中一貫教育研究モデル校に指定され、取組が始まりました。

「指定書」が全てのモデル校の校長先生方へ手渡されました。

指導課長、教育審議員が、モデル校（全13校）を訪問し、直接、校長先生方へ「指定書」を手渡しました。

4月18日(木) 長嶺小学校、長嶺中学校、託麻南小学校

4月22日(月) 武蔵小学校、武蔵中学校、弓削小学校

4月23日(火) 龍田西小学校、龍田小学校、龍田中学校、池上小学校、
三和中学校、高橋小学校、城山小学校

各中学校区校長会で小中一貫教育の方針が検討されました。

各中学校区校長会で、それぞれの校区の実態に応じた取組の方針が検討されました。この方針が、次の取組へとつながっていきます。

- ・4月18日(木) 三和中学校区校長会
- ・4月23日(火) 長嶺中学校区校長会
- ・5月 8日(水) 龍田中学校区校長会
- ・5月 9日(木) 武蔵中学校区園長・校長会



5月10日(金) 幼小中連携教育担当者会



6月 7日(金) 幼小中連携の日

各中学校区の実態に応じた

「幼小中連携の日」が開かれました！

6月7日（金）、各モデル校（三和中学校区、武蔵中学校区、長嶺中学校区、龍田中学校区）では、中学校での公開授業の参観後、各部会が開かれ、共通の課題を出し合うなどして、今年度の幼小中連携教育・小中一貫教育の取組について話し合われました。

■ 9年間を通した教育目標 ■ 一貫カリキュラムの柱 ■ 各部会

三和中 高橋小 池上小 城山小

夢に向かって、
主体的に行動できる子どもの育成

人権学習（道徳の授業を中心に）

生徒指導部会、学習指導部会
健康教育部会、特別支援教育部会
幼小中一貫部会、経営部会（園長・校長）

武蔵中 武蔵小 弓削小

ふるさとを愛し、
未来を創造できる生徒の育成

情報モラル教育 生活・総合学習
人権教育

生活・総合学習部会、情報モラル教育部会
人権教育担当者会、特別支援教育部会
健康教育部会、事務部会、教務部会、
小中一貫教育部会、管理職部会（園長・校長）

長嶺中 長嶺小 託麻南小

仲間（友達）と協働し
自律する児童生徒の育成

キャリア教育 人権教育
情報教育

生徒指導Ⅰ部会（基本的生活習慣、不登校）
生徒指導Ⅱ部会（カリキュラム）
学力充実部、人権教育部会、情報教育部会
キャリア教育部会、外国語教育部会
特別支援教育部会、幼保小部会、養護部会
給食部会、図書部会、教務部会、校長部会

龍田中 龍田小 龍田西小

地域との関わりの中で故郷を愛し、未来を切り
拓いていく力を身につけた児童・生徒の育成

道徳教育

幼保小連携部会、外国語部会、学力充実部会
特別支援教育部会、生徒指導部会、道徳部会
健康教育部会、教務部会、図書司書部会

小中一貫校・モデル校で行われた合同研修の実践例 1～3

1 古町小の先生が、白坪小の校内研修の講師に…

7月8日（月）、小中一貫校（花陵中、古町小、春日小、白坪小）で白坪小の校内研修に、古町小の先生が講師として派遣され、古町小の「フルフルタイム」の概要と実践について説明されました。

「フルフルタイム」とは、毎月第1・3水曜日に様々なテーマについて3～4人のグループで語り合うコミュニケーションスキルを高めるための取組です。説明の後、実際に「フルフルタイム」を体験された白坪小の先生方も、それぞれの思いを語り合われていました。今後の小小連携につながる校内研修となりました。

2 託麻南小の校内研修に、長嶺中・長嶺小の先生方も参加

7月18日（木）、小中一貫教育モデル校の託麻南小の校内研修に、長嶺小の校長先生や長嶺中・長嶺小の初任の先生方も参加されました。今回の校内研修は、「不登校やいじめ問題についてこれまで数多くの事例に携わってこられた講師の先生の話聞くことによって、今後の取組の一助としていく」ことを目標に、講師の先生をお招きしての研修会でした。

最初に、講師の先生による5年生への道徳の授業の後、「不登校児童生徒やいじめ問題のかかわりの中で感じてきたもの」というテーマで講話が行われました。

不登校のこどもへの具体的な声のかけ方、再登校への3つのステップ、不登校回復MAP こどもバージョン・大人バージョンなどが紹介され、託麻南小の先生方と長嶺中・長嶺小の先生方の不登校生への対応について共通理解を得られる研修となりました。

3 武蔵中学校区（武蔵中、武蔵小、弓削小）小中合同研修会

8月23日（金）、小中一貫教育研究モデル校の武蔵中学校区で、小中3校合同の研修会が武蔵中で行われました。小中一貫カリキュラムの柱の一つである「情報モラル教育」に関する内容で（講師：総合支援課と教育センターの指導主事）、3つの教室に分かれてのポスターセッション形式の研修でした。

研修① 困難課題対応事例から学ぶ

研修② かるたで学ぼう！メディアリテラシー

研修③ 実際授業で使える教材紹介

あらかじめ決められた班（武蔵中、武蔵小、弓削小の先生方3人組）で各教室を回りながらの研修でした。

研修後の振り返りで、「2学期にやってみよう。」「小学校の先生方と話ができる貴重な時間でした。」などが出されていました。

小中一貫校・モデル校で行われた「幼小中連携の日」

龍田中学校校区「幼小中連携の日」 会場：龍田小学校

11月27日(水)、モデル校である龍田中学校校区の「幼小中連携の日」が、龍田小学校で行われました。

龍田中学校校区では、「幼小中連携カリキュラム」の項目である「掃除」、「気持ちの良い挨拶」、「時間厳守」、「毎日の家庭学習」に関連させて、「規範意識(時間を守る)」、「挨拶、礼儀」、「勤労(清掃活動)」を柱として道徳の「小中一貫カリキュラム」が作成されています。

そこで、今回の「幼小中連携の日」では、「小中一貫カリキュラム」に基づき、低中高学年の道徳の授業が公開されました。1年生は「わすれていること、なあい(あいさつをきちんと)」(B 礼儀)、3年生は「三人の仕事」(C 勤労、公共の精神)、5年生は「あいさつって(礼ぎとは)」(B 礼儀)の授業が行われました。

分科会も低中高学年の三つの部会に分かれて、幼小中連携テーマである「あたりまえのことを『あたりまえ』に実践できる児童・生徒の育成～道徳教育の実践を通して～」に基づき、公開授業の振り返り、グループ協議、全体での共有、「幼小中連携カリキュラム」の見直しが話し合われました。

参加された先生方からは、次のような感想が聞かれました。

- 自学ノートをお互いにどれだけ出しているか知らなかった。今やっていることが、中学校につながっているのか考える機会になった。
- 今日はいずれの学校のいろいろな取組が聞けたので、自分も実践していきたい。
- 中学生の姿を動画に撮って、小学生に見せてもらいたい。情報共有のための Teams があっていいですね。

城南中学校区「幼小中連携の日」 会場：川尻小学校

11月29日(金)、令和5年度より小中一貫校となった城南中学校区の「幼小中連携の日」が、川尻小学校で行われました。

公開授業が全学級で行われた後、分科会は、幼保小部会、学習・小中一貫部会、生徒指導部会、特別支援部会、教務部会の5つの部会が開かれました。

全ての分科会の前半で、参加された先生方は「アドジャン」を体験されました。

「アドジャン」とは、「かわりプログラム Simple」代表、元名城大学教授が「スリンプル(スリム&シンプル)プログラム」の一つとして提唱されている手法の一つです。「アドジャン!」の掛け声でじゃんけんをしてその指の合計の数で、あらかじめ決められたトークテーマの番号について一人ずつ話をしていくソーシャルスキルトレーニングです。

この取組は、すでに託麻東小学校で「託東タイム」として7年前から、その後、同じ小中一貫校である二岡中学校でも5年前から始められました。先生の著書でも紹介されています。

今回の川尻小学校でも昨年度より始められ、毎週火曜日、朝自習の10分間、実施されています。そして、同じ城南中学校区の城南小学校でも今年度より始められて、徐々に校区内に広まってきています。今後、小中一貫教育の取組として定着していくことが期待されます。

分科会後の全体会(Zoom)で、「アドジャン」について、次のような感想が報告されました。

- 自分の話を笑顔で受け止めてもらいうれしかった。グループ活動もスムーズに進み、このような活動をしていけば、温かい学級へつながっていくのではないかと思った。
- 知らない相手も知ることができたので、話すこと以外に聞く力も高まるのではないかと思った。
- 短い限られた時間ではあったが、内容がだんだん深まっていた。

小中一貫教育に取り組んでよかったことは？

今年度、小中一貫校となった学校※の校長先生方に聞きました！

モデル校から、
小中一貫校へ
この2年間の
取組の中で…



○小中一貫校になったことによって、9年間の一貫教育目標を学校経営の最初に明記したことで、先生方の意識が変わり、様々な取組の中で、「小中一貫校だから〇〇しよう！」という視点で考えることができるようになったことです。

○これまでの「幼小中連携カリキュラム」に加え、小中一貫校になったことによって、「小中一貫カリキュラム」を作成しました。それにより、教科のカリキュラムのレベルで、先生方が系統性をもって考えるようになったことです。

○これまでは、小学校と中学校のつながりを意識していましたが、小中一貫教育に取り組むようになり、今度は小中の連携だけでなく、小学校同士もつながれたことです。

○先生たち同士が顔見知りになり、気楽に話ができるようになりました。そのことで、情報交換のレベルから、同じ目的意識を持って話ができるようになり、研修会なども充実しました。

○先生方の意識が高まり、いろいろな取組の時に、「中学校はどうやっているの？」、「小学校はどうやっているの？」と小中の系統性を意識した声が聞こえるようになったことです。



※ R6 年度(2024 年度) 小中一貫校となった学校

花陵中学校、古町小学校、春日小学校、白坪小学校

城西中学校、小島小学校、中島小学校

飽田中学校、飽田東小学校、飽田南小学校、飽田西小学校

力合中学校、力合小学校、力合西小学校

日吉中学校、日吉小学校、日吉東小学校

R6年度 モデル校の報告書 が提出されました！

小中一貫教育研究モデル校実践報告書「実践内容」より一部抜粋

三和中学校区（高橋小、池上小、城山小、三和中）

- 三和中校区は人権学習を小中一貫カリキュラムの柱としている。特に学ばせたい普遍的な内容として「2自分と他者 2-①人間関係」を定めている。これらのカリキュラムのより良い実践への研修として、公認心理師の先生に講演を依頼した。講演から「こどもとの向き合い方」「児童同士が関わりやすい環境づくり」「インクルーシブの視点」などを学んだ職員が多かった。
- 小中一貫カリキュラムの人権教育の確実な実践と記録、また三和中校区の共通実践「聴き方あいうえお」掲示物作成と実践を行うことができた。
- 三和中校区の小中学校で、年3回生活リズムチャレンジ週間や、年1回アウトメディアチャレンジ週間を実施した。
- 幼保小中連携の一環として、校区の幼稚園・保育園を訪問・参観し、幼児教育への理解を深めた。
- 保護者や地域へ学校だより、学級通信、すぐーる等で効果的に小中一貫について周知することができた。

武蔵中学校区（武蔵小、弓削小、武蔵中）

- 「武蔵中校区小中一貫カリキュラム」の柱の一つである生活・総合では、地域とのつながりについて取り組んでいるが、令和6年度の学校評価の中で、「地域や家庭の人と協力して、授業や行事などの教育活動を進めていますか」の質問に、次のように答えている。
 - ・（武蔵小）昨年度よりも肯定的な評価が上がっている。特に、保護者からの評価が向上し、教育活動の様々な場面での理解が得られていると考える。
 - ・（弓削小）保護者、児童、教職員から80%以上の肯定的な回答を得ることができた。
 - ・（武蔵中）79.4%の生徒が肯定的に評価している。
- 夏季休業期間にメディアリテラシーや生徒指導に関する事例対応研修を小中学校合同で企画し、実施した。
- 小中学校で、情報モラルに関する合同の研修会を開いた。
- 小中学校での共通の取組として、メディアコントロールデーを年間3回実施した。
- 中学校の給食委員会が作成した動画を小学校で視聴した。
- 次年度に向けて、新入学となる6年生に向けて体験授業や部活動体験を実施した。

長嶺中学校区（託麻南小、長嶺小、長嶺中）

- 小中が相互に共通実践できるよう、「キャリア教育」を軸にした、小中一貫カリキュラムを作成し、それぞれの学校で授業実践を行った。
- 長嶺小の校内研修で取り組んだ対話の取組「チャットタイム」について、小中連携の日の研修会において、各校園の先生方に体験してもらい、共通理解を図った。
- 託麻南小の道徳の授業の校内研修に、各校からも数名の職員が参加し、両校の研究の方向性について共有を図った。
- 生徒主体の小中連携の取組として、2月に中学2年生と小学6年生の交流事業を行った。これは、生徒会執行部と有志の生徒が各小学校の担当に分かれ、小学校を訪問し、中学校の生活について紹介したり、質問を受けたりする取組である。小学生は中学校入学に向けての展望を持つことができたようである。また、3月には2回目の交流事業として、今度は小学生が中学校に来校した。生徒会執行部による学校説明や中学校職員による模擬授業などが行われた。また、部活動での交流も行われており、サッカー部や吹奏楽部が小学生との合同練習会を数回実施した。
- 幼保小連携の一環として、校区の幼稚園・保育園の園児と小学1年生との交流会を行い、幼保から小へのつながりを持たせた。また、連携カリキュラムに幼保の分野を新たに作成した。

龍田中学校区（龍田小、龍田西小、龍田中）

- 幼小中一貫カリキュラムの作成に当たり、「規範意識：時間を守る」「挨拶、礼儀：進んであいさつ」「勤労：清掃活動」という連携カリキュラムの項目をもとに、各学年の道徳教育で重点の内容項目を決め、一貫カリキュラムを作成した。各学校での実践をもとにして、来年度へ向けての項目の見直しを行った。話し合いの中で、実践したことを記録に残すことの大切さを感じ、共通した記録用紙を作成し、今後の指導に生かしていくことになった。
- 当たり前のことを「あたりまえ」に実践できる児童・生徒の育成に向け行った一貫した取組のおかげで、あいさつや掃除、時間厳守における児童・生徒の意識が以前より高まった。また、目標に向けて、教職員が同じベクトルで指導しやすくなった。
- 幼保小連携の面で、小学校と保育園との交流会を行った。来年度の入学へ向けてとても大切な会となり、大きな成果を果たすことができた。

上記のモデル校(13校)は、R7年4月からは、
小中一貫校※となります！

※小中一貫型小学校・中学校となります。各小・中学校の統廃合はありません。